

モンスーンアジアにおける 農業環境研究の課題と 連携強化

MARCO Symposium 2012
Strengthening Collaboration to meet Agro-Environmental Challenges
in Monsoon Asia

2012.9/24 [mon] - 27 [thu]

つくば国際会議場 参加費無料(事前登録制)

主催: (独)農業環境技術研究所 後援: 農林水産省、茨城大学農学部

使用言語: 英語 (ワークショップ2のみ同時通訳付き)

エクスカージョン 9/24 9:00 ~ 17:00

つくばみらいFACE実験施設、茨城大学農学部実験圃場、ほか

全体会合 -1 9/25 10:00 ~ 17:00

開会式

基調講演: モデル研究からモンスーンアジアにおける農業生産、水資源、環境サービスの調和を図る Changsheng Li [ニューハンブシャー大学、米国]

講演

気候変動下における農業環境研究の挑戦に対し連携は必要か?

長谷川利弘 [(独)農業環境技術研究所]

増加する人口に対し健全な土壌を保障する: グローバル・ソイル・パートナーシップ

Ronald Vargas Rojas [国連食糧農業機関(FAO)土地・水資源部]

中国における窒素収支: その農業便益と環境負荷

顔 曉元・遼 超普 [中国科学院南京土壤研究所]

ウリ科作物における難分解性有機汚染物質(POPs)残留の軽減

清家伸康・大谷 卓 [(独)農業環境技術研究所]

水稻のカドミウム汚染を軽減する技術

石川 寛・牧野知之・村上政治 [(独)農業環境技術研究所]

遺伝子組換え作物をめぐる政策および開発の現状と課題: 分化する世界とモンスーンアジアへの含意

立川雅司 [茨城大学農学部]

日本の水田景観における農業活動と生物多様性との正と負の関係

池田浩明・山本勝利 [(独)農業環境技術研究所]

東日本における2011年大津波被災土壌の性質と管理

南條正巳 [東北大学農学部]

福島第一原子力発電所事故によるわが国農耕地土壌と作物の放射能汚染

谷山一郎 [(独)農業環境技術研究所]

ワークショップ -1 9/26 9:00 ~ 17:00 · 9/27 9:00 ~ 12:00

モンスーンアジアの農業と気候変動一適応策・緩和策・将来予測一

ワークショップ -2 9/26 9:00 ~ 17:00 · 9/27 8:30 ~ 12:00

モンスーンアジアにおける遺伝子組換え作物のバイオセーフティーと開発: 現状と将来の展望

ワークショップ -3 9/26 9:30 ~ 17:00 · 9/27 9:30 ~ 12:00

アジアにおける土壌情報利活用の新たな局面

ワークショップ -4 9/27 9:00 ~ 12:00

モンスーンアジアにおける農業環境研究の連携強化

全体会合 -2 9/27 13:00 ~ 16:00

各ワークショップからの報告(サテライトワークショップを含む)

総合討論

閉会式

お問い合わせ事務局

独立行政法人農業環境技術研究所 連携推進室

〒305-8604 茨城県つくば市観音台 3-1-3

E-mail: marco2012@ml.affrc.go.jp

TEL: (029) 838-8181 FAX: (029) 838-8199

参加申込はウェブサイトからお願いします。

<http://www.omc.co.jp/marco/>